

## 1. 基本情報

- (1) 国名：タンザニア連合共和国（以下、「タンザニア」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：タンザニア本土 6 州（アルーシャ州、ドドマ州、カタヴィ州、ムトワラ州、ムワンザ州及びプワニ州）とザンジバルのウングジャ島
- (3) 案件名：母子保健サービス改善計画  
(The Project for the Improvement of Maternal and New-born Care)
- (4) 計画の要約：  
本計画は、タンザニア本土及びザンジバル・ウングジャ島の計 7 つの州病院 に対し、母子保健関連医療機材を供与することにより、州レベルでの診断・検査・治療体制の強化を図り、もって母子保健サービスの改善を通じた、同国のガバナンス・行政サービスの向上に寄与するもの。

## 2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義  
タンザニアは、インド亜大陸及び中東アラブ世界とサブサハラ・アフリカをつなぐ重要な位置にあり、東アフリカ地域の安定にも大きな役割を果たしてきており、穏健な外交方針と安定した内政の下、国際場裏及び二国間関係で我が国と良好な協力関係を維持している。  
我が国は 1970 年代から母子保健をはじめとする同国保健医療分野への支援を行ってきているものの、州レベルでの母子保健サービス体制が依然脆弱とされており、体制強化と医療設備の拡充は喫緊の課題である。これらの課題に取り組む本計画は、我が国が第 8 回アフリカ開発会議（TICAD 8）及び G7 において表明した、妊産婦、新生児及び乳幼児の死亡率低減及び UHC 達成への貢献に資するものであり、SDGs ゴール 3（健康）の達成にも貢献する。
- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け  
タンザニア政府の第 3 次 5 ヶ年開発計画（Five Year Development Plan III）（2021/22 年～2026/27 年）及び保健セクター戦略計画（Health Sector Strategic Plan V、以下「HSSP V」という。）（2021～2026 年）において、リプロダクティブヘルス及び母子・新生児・思春期保健は優先課題として位置づけられている。  
同国では、乳児死亡率及び 5 歳未満児死亡率とともに、妊産婦死亡率は改善がみられている（2000 年 760 から 2020 年 238（対出生 10 万人）、世界銀行）。一方で、施設、機材、医療リファラル体制等のハード、ソフト面はいずれも依然脆弱であり、妊産婦検診、出産及び妊娠・出産時合併症発生においても適切な検査や治療を適時に提供できないという課題がある。これを受け保健省は、州レベルの母子保健サービス体制強化を目的とし、第二次医療施設である州病院（Regional Referral Hospital、以下「RRH」という。）の医療設備の整備拡充及び患者ケア強化の計画を立ててい

る。

かかる状況下、「母子保健サービス改善計画」（以下、「本事業」）は、タンザニア本土の6つ、ザンジバル・ウングジャ島の1つのRRHに対し母子保健サービスの改善に必要な医療機材整備を実施することにより、同国の州レベルでの母子保健分野の診断・検査・治療体制を強化し、医療サービスへのアクセス向上を図るものである。

### 3. 計画概要

\*協力準備調査の結果変更されることがあります。

#### (1) 計画概要

##### ① 計画内容

- ア) 施設、機材等の内容：デジタルX線、モバイルX線、人工呼吸器、麻酔器、超音波診断装置、吸引分娩装置、帝王切開用セット、患者監視装置、滅菌機、ベッド、ラジアントウォーマー等
- イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、調達監理、設置される医療機材の保守・維持管理指導（修理・点検活動、保守管理記録、在庫管理、部品・工具調達管理）を想定。

##### ② 期待される開発効果

以下の指標の改善により、母子保健サービスへの貢献が期待される（実績値については2022年のドドマ、カタヴィ、ムトワラ及びムワンザ州のRRHの実績。目標値は独自に策定しているムワンザ州のRRHの増加率を4病院全体の実績値に乘じ算出）

- ア) X線画像診断件数（件／年）32,942から82,300
- イ) 超音波診断件数（件／年）31,104から66,200

##### ③ 計画実施機関／実施体制

タンザニア保健省

##### ④ 他機関との連携・役割分担

特になし

##### ⑤ 運営／維持管理体制

各病院には機器管理のためのBME学位を持ったエンジニアやBMEディプロマを持ったテクニシャンが配置されている。

#### (2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

### 4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

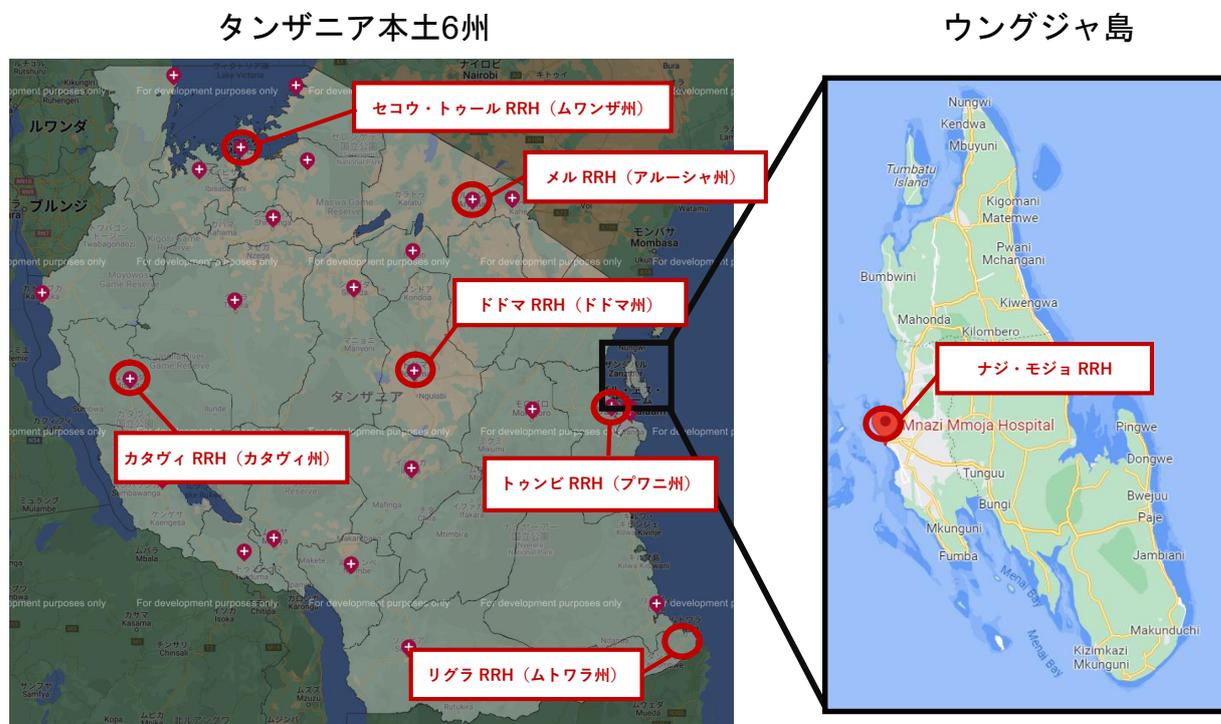
ウガンダ共和国「中央ウガンダ医療施設改善計画」（評価年度2015年）の事後評価等では、医療機材選定の際、対象病院医師の使用経験のある機材に限定した。その中でも、使用経験の少ない機材に対して研修、指導を実施した結果、整備機材の有効活用及び適切な維持管理につながっていることが確認された。本事業でも、病院側の臨床技術レベルや維持管理体制の現状を踏まえ、整備機材の内容やソフトコンポーネントについて検討する。

以 上

[別添資料] 母子保健サービス改善計画 地図

タンザニア 「母子保健サービス改善計画」 地図

事業対象地域：タンザニア本土6州（アルーシャ州、ドドマ州、カタヴィ州、ムトワラ州、ムワンザ州及びプワニ州）とザンジバルのウングジャ島



出典：(写真左) タンザニア保健省 ([HFR-PORTAL \(moh.go.tz\)](http://HFR-PORTAL(moh.go.tz)))より JICA 作成

(写真右) Google Maps (地図データ©2023 Google) より JICA 作成

以上